

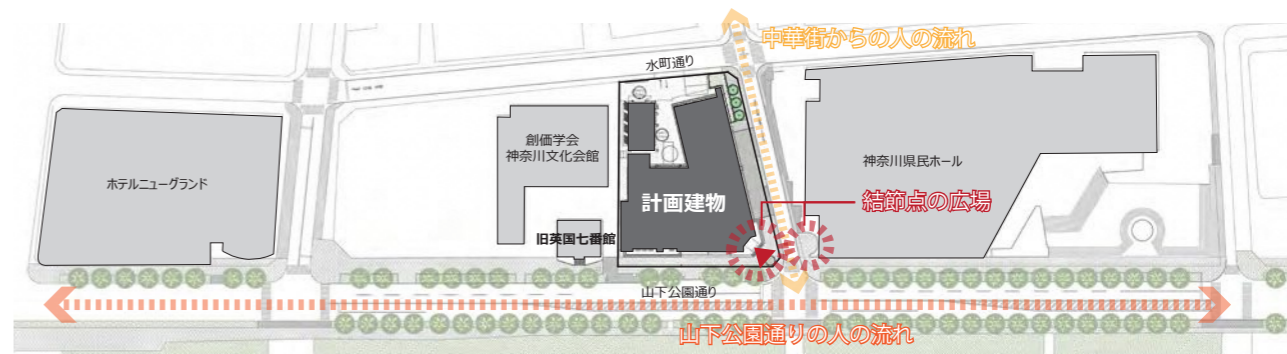


■ 山下公園通りと中華街からの人の流れを意識した「角入り」アプローチ

- 山下公園通りと中華街方面からの人の流れの結節点となる敷地角部に着目し、角入りのアプローチを採用する
- 隣接する県民ホール広場の正面に、エントランス・広場を計画することで、オープンスペースの連続性を確保する



エントランス



配置図

「角入り」のアプローチ

- 山下公園通りと中華街方面からの人の流れの結節点となる敷地角部に着目し、角入りのアプローチを採用する



山下公園通りの屋外テラス

- 山下公園通りに面したレストランを計画
- ガラスの大開口と屋外テラスを設けることで、山下公園通りと連続した人々の憩いの場となる
- 東側も旧英国七番館に視線が向くよう大開口を設ける



山下公園通りの人の流れ

歩行者の安全性に配慮

- 人通りの多い山下公園通りを避け、車寄せと駐車場を計画。車寄せ脇には風除室を設置。
- 車寄せは公開空地と一体利用を促進するため、誘導員を配置し、歩行者の安全性を確保



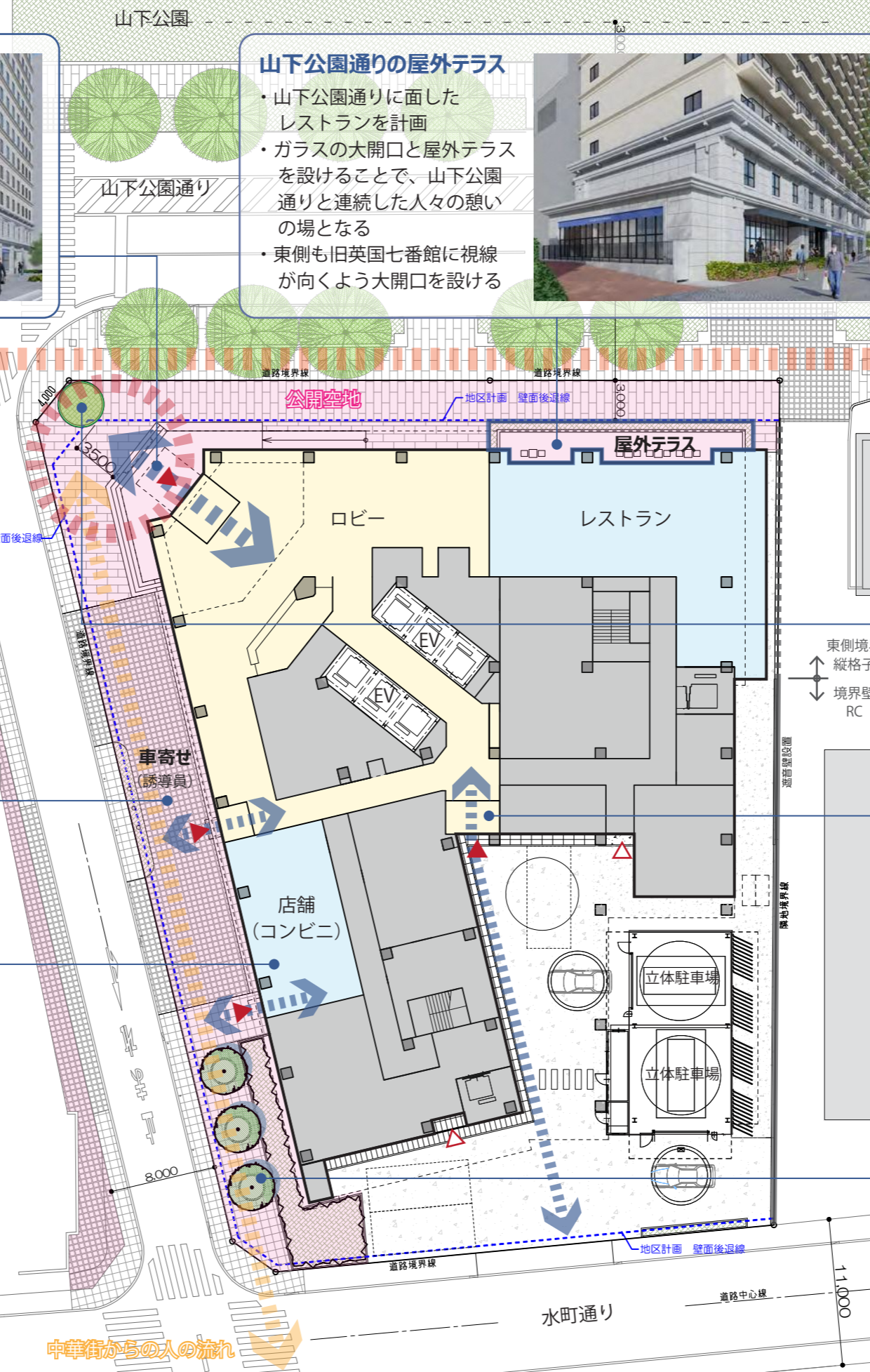
神奈川県民ホール

店舗の顔出し

- 県民ホール側に店舗（コンビニ）を計画し、水町通り側に人の流れを創出
- レストラン同様、ガラスの大開口を設け、街路から内部の賑わいを感じられる設えとする



中華街からの人の流れ



歴史を継承するシンボルツリー

- 倒木リスクがあり保存困難なヒマラヤ杉の替わりとして、代替樹（モミの木 H=10M）と解説パネルを計画

南北をつなぐ動線計画

- 水町通り側にもサブエントランスを計画 建物を介して南北の人の流れを促進させる

ヒューマンスケールな緑化と歩行者への配慮

- 水町通り側には、高木と低木によるヒューマンスケールな緑地を整備
- 高木足元は舗装仕上とし歩行空間を確保



凡例 ▲：来客出入口 △：従業員出入口